**【　様式４　】** (応用ステージ研究)

**記 載 例**

**研究プロジェクト内容等説明書**

※具体的かつ簡明に記述してください

（「５.」「６.」「１０.」(それぞれ１ページで指定)を含めて、７ページ以内）

|  |  |
| --- | --- |
| **１．背景及び目的** |  |
| ①社会的・経済的・技術的背景を踏まえ、この研究プロジェクトに関連・類似する最新の技術水準や今後のトレンドについて簡潔に記述②共同研究の目的について具体的に記述。また、研究プロジェクトを実施することで、技術的な内容、市場性、経済性等において未詳な点が、どれだけ明確化されるかについて簡潔に記述 |
| **２．共同研究の主旨** |  |
| ○共同研究の必要性等について、簡潔に記述 |
| **３．目標** |  |
| 期待できる成果を時系列に分け、それぞれの時期に目指すべき具体的目標について、できる限り定量的に簡潔に記述。また、目標設定の根拠を明瞭かつ具体的に記述①本補助事業終了時（研究開始後１年又は２年後）の目標②研究開発の最終的な目標（本補助事業実施後、本格的研究へ移行した後の研究終了時の目標。何年後の目標かについても記述）③事業化、製品化の目標（②と同様、何年後に何を実現するのかの目標を記述） |
| **４．研究開発の現状** |  |
| ①同様の分野、領域における研究開発の現状を記述②必要に応じ、本県と他府県、我が国と諸外国との比較を簡潔に記述 |
| **５．研究プロジェクトの内容**（Ａ４：１ページにまとめてください） |
| ＜共同研究プロジェクトの内容について具体的に記述＞　なお、以下の内容を盛り込むこと。　・研究手法とこれによる解決方法　・「３．目標」を達成するための共同研究チームが保有している基盤となる技術シーズや科学的な知見の蓄積について明瞭かつ具体的に記述（必要に応じて、図や表を使って説明いただいても結構です。） |

**６．共同研究の役割分担とサブテーマ**

（Ａ４：１ページにまとめてください）

|  |
| --- |
| ◇共同研究チームの構成員がどのような役割分担の下、研究プロジェクトを進めていくのか、明確に記載して下さい。〔記載例〕　記載例ですので、他の形式、図によりわかりやすく記載いただいても構いません。 （サブテーマ１）　　　　　　　　　　　 （サブテーマ２） |
|  |  ○○に関する研究 |  （サブテーマ間の関係） |  △△に関する研究 |  |
| （研究内容及び実施場所） | （研究内容及び実施場所） |
|  |  |
|  |  ○○研究所：○○研究員 |  （役割を記述） |  |  ○○機関：○○部長 |  （役割を記述） |
| （各機関間の） 関係を記述） | （各機関間の） 関係を記述） |
|  | 　△△大学：　　△△教授 |  |  □□機関：　　□□部長 |  |  | 　△△研究所：　　△△研究員 |  |  □□機関：　　□□部長 |  |
|  　 （役割を記述） 　　（役割を記述） |  （役割を記述） 　　（役割を記述） |
|  　　（サブテーマ間の関係） 　　　　　（サブテーマ間の関係） |
|  （サブテーマ３） |  □□に関する研究 |  |
| （研究内容及び実施場所） |
|  （機関間の関係を記述） |
|  |  ○○機関：　　○○部長 |   |  △△研究所：　　△△研究員 |  |
|  （役割を記述） （役割を記述） |
|  ○共同研究チームの構成員が、どのように連携を取りながら研究を進めるのか、「各サブテーマ内における各機関（責任者名）の関係」、「サブテーマ間の関係」の箇所等に具体的に記述してください。 |

|  |  |
| --- | --- |
| **７．本格的研究への移行** |  |
| ○本事業において研究を実施した後、どのように本格的研究（国等の競争的資金等を活用した研究開発、参画企業における大型研究プロジェクトや事業の実施等）へ移行していくかについて記述※本格的研究において、最終的な目標に向かい、どのように研究開発を実施しようとするかについても記述すること |
| **８．研究プロジェクト実施の効果** |  |
| **①新規性・革新性** |  |
| ○当該研究プロジェクトが他の研究と比べて、どのような点で優れ、新規性・革新性があるのかを記述○当該研究プロジェクトの実施により、当該分野における創造性に富む優れた成果や、分野を越えた融合による新たな領域の創出にどのようにつながることが期待されるかについて記述 |
| **②研究プロジェクトの発展性** |  |
| ○研究成果の技術的・社会的ニーズについて具体的に記述するとともに、今後どのように展開していくのかについて記述 |
| **③兵庫県への波及効果、兵庫県の地域創生戦略への貢献** |  |
| ○当該研究プロジェクト実施により、兵庫県の産業競争力の強化（技術基盤の強化、新製品・サービスの創出等）や雇用の創造に結びつき、「兵庫県地域創生戦略」を実現する内容について、簡潔に記述 |
| **９．専門用語の解説** |  |
| ○本研究提案書において、使用している専門用語・略語について、個々に解説 |

**１０．事業化計画**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（Ａ４：１ページにまとめてください）

①事業化実施主体

|  |
| --- |
| ※共同研究チーム内で実際に事業化を担う企業名と主たる業種を記載のうえ、事業拡大・新規参入の別を選択・記載してください。〔[ ] 事業拡大　　[ ] 新規参入（新規参入業種：　　　　　　　　　）〕 |

②この補助事業後、事業化を目指す技術・製品等の概要

|  |
| --- |
| ※事業化を目指す製品等（市場に投入しようとしている製品等）について説明してください。※想定価格（最終販売予定先含む）・特徴を記載してください。複数ある場合は、製品等ごとに記載してください。 |

③市場の動向・競争力

|  |
| --- |
| ※市場の特色・動向、将来の市場規模・応募者のシェアの見込みについて記載してください。※競合が予想される他社の開発動向とそれに対する優位性について根拠を示して説明してください。 |

**【　様式５　】** （Ａ４：１ページにまとめてください）

**研究プロジェクト資金計画書**

消費税は原則補助金の対象外ですので、自己資金等に記載してください。
（通常、自己資金等も発生します。）

【１年目（令和６(2024)年度）】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　　　目 | 所要経費総　　額 | 補助金希望額 | 自己資金等 | 説　明 |
| 自己資金 | 借入金 |
| ①設備・機器費 | 3,700 | 2,700 | 1,000 |  | ○○装置他 |
| ②原材料・消耗品費 | 600 | 500 | 100 |  | 薬品類、試作材料他 |
| ③外注加工費 | 3,200 | 2,400 | 800 |  | 外注加工 |
| ④調査研究経費 | 700 | 600 | 100 |  | 技術調査、謝金他 |
| ⑤その他経費 | 900 | 800 | 100 |  | 人件費、データ分析委託他 |
| 合　計 | 9,100 | 7,000 | 2,100 |  |  |

【２年目（令和７(2025)年度）】　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　（単位：千円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　　　目 | 所要経費総　　額 | 補助金希望額 | 自己資金等 | 説　明 |
| 自己資金 | 借入金 |
| ①設備・機器費 | 1,600 | 1,100 | 500 |  | ××装置 |
| ②原材料・消耗品費 | 400 | 300 | 100 |  | 薬品類、試作材料他 |
| ③外注加工費 | 1,000 | 800 | 200 |  | 外注加工 |
| ④調査研究経費 | 300 | 200 | 100 |  | 技術調査、謝金他 |
| ⑤その他経費 | 800 | 600 | 200 |  | 人件費、機械リース料他 |
| 合　計 | 4,100 | 3,000 | 1,100 |  | 提案書を提出いただく時点で、資金計画書の根拠となる見積り書等の提出は不要です。 |

|  |
| --- |
| 【特記事項】※２年目の補助金希望額が１年目の希望額の１／２を上回る場合は、その理由を記載してください。　（審査において必ずしも認められるものではありませんので、予めご了承ください。） |

**（資金計画記載にあたっての注意事項）**

１　経費は、公募要領のP11「５．補助金の交付等（３）補助対象経費」を参考に記載してください。

２　「説明」の欄は、各経費の項目において、主な支出内容を簡潔に記載してください。

３　所要経費総額＝補助金希望額　＋　自己資金等（自己資金、借入金）となります。

４　原則として、２年目の補助金額は１年目の補助金額の１／２以内とします。

|  |
| --- |
| ※　実際の補助金交付額は、１年目、２年目それぞれの上記補助金希望額の範囲内で、採択後、別途審査の上で決定されます。 |

**【　様式６　】** （Ａ４：１ページにまとめてください）

**プロジェクト・リーダー（ＰＬ）　研究経歴書**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 氏 名 |  | 年　齢 | 歳 |  |
| ①所属・役職名申請年度の４月１日現在 |
| ②学位〔授与機関〕 〔最終学位〕( 博士 ･ 修士 ･ 学士 ･ なし )←○印を付けて下さい。 〔取 得 年〕 〔専　　攻〕 |
| ③研究経歴（企業での研究経験を有する場合、その内容及び経験年数が分かるように記載してください）プロジェクトとして獲得した補助等金額を記載してください。（千円単位で記入） |
| ④産学官共同プロジェクトの実施経歴（ある場合に５件以内で記入願います。） （記入例） |
|  | プロジェクト名 | 年度 | 制度名（金額：千円） | PL経験 |  |
|  ①・・・・・・・の研究 |  |  ○○○制度(10,000) |  ○ |
|  ②＊＊＊＊＊＊＊の研究開発 |  |  |  ○ |
|  ③ ・ |  |  |  |
|  ④ ・ |  |  |  |
|  ⑤ ・ |  |  |  |
| 該当個所に○を記載 |
| ⑤当該研究開発に関連する主要論文、研究発表等（５件以内） |
| （参考）当該研究プロジェクトに関係する特徴的な特許の状況（５件以内） 　　　　 ※該当が無い場合は、「該当無し」と記載してください。 （記入例） |
|  | 特許登録番号 | 名　　　称 |  |
|  ①＊＊＊ |  ＊＊＊装置 |
|  |  |  ②・・・ |  ・・・・の方法 |  |  |
|  ③ ・ |  |
|  ④ ・ |  |
|  |  |
|  |

**【　様式７　】** （Ａ４：１ページにまとめてください）

**代表機関の概要**

※公益財団法人等の場合は、各項目を（　）で読み替えて記入してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 企業名（機関名） |  | 設立年月日（経過年数） | （ 年） |  |
| 本社所在地 | 都･道 郡 区府･県 市･区 町･村 | 基本財産又は資本金 |  |
| 従業員総数（職員総数） |  | 研究者数 |  | 県内事業所 | 市 区郡 　町 |
| ①事業概要（主たる業種（企業の場合）：　　　　　　　　　　）本社が県内でない場合のみ記入してください。複数の事業所を有する場合は、当該プロジェクトにかかる研究等を主に実施する場所を記入してください。 |
| ②産学官共同プロジェクト経歴（ある場合に５件以内で記入願います。）　　　　　　　　　　プロジェクト名欄※印は代表機関若しくは管理法人として参画（記入例）下記プロジェクトに代表機関若しくは管理法人として参画した場合は、プロジェクトのあとに＊を記入して下さい。 |
|  | プロジェクト名 | 年度 | 制度名（金額：千円） |  |
|  ①・・・・・・・の研究　※ |  |  ○○○制度(10,000) |
|  ②△△△の○○○○研究会 |  |  |
|  ③ ・組織が大きく、プロジェクトが複数になる場合は、所属部署・研究室等にかかるプロジェクトを記載いただいて結構です。 |  | プロジェクトとして獲得した補助等金額を記載してください。（千円単位で記入） |
|  ④ ・ |  |  |
|  |
| ③内部組織・当該研究プロジェクト担当部署名 　　　　うち研究プロジェクト担当人員　　　名 |
| ④研究プロジェクトの責任者の職氏名 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑤研究プロジェクトの経理担当者の職氏名 |
| （参考）当該研究プロジェクトに関係する特徴的な特許の状況（５件以内） |
|
|  |  　　　　※該当が無い場合は、「該当無し」と記載してください。（記入例） |  |
|  | 特許登録番号 | 名　　　称 |  |
|  ①＊＊＊ |  ＊＊＊装置 |
|  ②・・・ |  ・・・・の方法 |
|  ③ ・ |  |
|  ④ ・ |  |
|  |  |
|  |

**【　様式８　】** （参加機関ごとにＡ４：１ページにまとめてください）

**参加機関等の概要（参加する機関ごとに作成）**

 　※公益財団法人等の場合は、各項目を（　）で読み替えて記入してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ※企業名（機関名又は研究者名） |  | 設立年月日（経過年数） | （ 年） |
| 本社所在地 | 都･道 郡 区「学」の場合、記載不要です。府･県 市･区 町･村 | 基本財産又は資本金 |  |
| 従業員総数（職員総数） |  | 研究者数 |  | 県内事業所 | 市 区郡 　 町 |
| ①本研究プロジェクトと関連する部門及びその研究内容※研究者の場合は、研究内容のみ記入してください　※企業の場合は、主たる業種も記入してください。 |
| ②産学官共同プロジェクト経歴（ある場合に５件以内で記入願います。）プロジェクト名欄※印は代表機関若しくは管理法人として参画（記入例）下記プロジェクトに代表機関若しくは管理法人として参画した場合は、プロジェクトのあとに＊を記入して下さい。 |
|  |  プロジェクト名 |  　年度 |  　　制度名（金額：千円）kingaku  |  |
|  ①・・・・・・・の研究　※ |  |  ○○○制度(10,000) |
|  ②△△△の○○○○研究会 |  |  |
|  ③ ・組織が大きく、プロジェクトが複数になる場合は、所属部署・研究室等にかかるプロジェクトを記載いただいて結構です。 |  | プロジェクトとして獲得した補助等金額を記載してください。（千円単位で記入） |
|  ④ ・ |  |  |
|  |  |  |
|  |
| （参考）当該研究プロジェクトに関係する特徴的な特許の状況（５件以内） 　　　　 ※該当が無い場合は、「該当無し」と記載してください。（記入例） |
|  | 特許登録番号 | 名　　　称 |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |

(応用ステージ研究)

**研究提案書チェックシート**

※提出漏れがないか、また、指定ページ数内で記載されているかどうかチェックしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | チェック欄 | 必 要 書 類 |
| [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]  | 様式１：成長産業育成のための研究開発支援事業研究提案書(１ページ)様式２：研究プロジェクト総括表（１ページ）様式３：研究プロジェクト実施体制説明書（ページ数任意）様式４：研究プロジェクト内容等説明書（「５.研究プロジェクトの内容」「６.共同研究の役割分担とサブテーマ」「１０.事業化計画」(それぞれ１ページで指定)を含めて、７ページ以内）様式５：研究プロジェクト資金計画書（１ページ）様式６：プロジェクト・リーダー 研究経歴書（１ページ）様式７：代表機関の概要（１ページ）様式８：参加機関等の概要（ページ数任意（各機関毎に１ページで指定））Excel、Word形式のデータで提出（提出先：chiikisangyorichi@pref.hyogo.lg.jp）（メール送信時の件名：【成長産業育成のための研究開発支援事業 研究提案書】） |
|  | [ ]  | 研究提案書チェックシート（本紙） |
|  |  |  |

※各様式は、ページ数を厳守してください。

※採択となった場合、様式２③（研究プロジェクト名）、様式２④（研究プロジェクトの概要）及び様式３（共同研究チームの代表機関、代表者名、所属機関名、各構成員の機関名等）に記載の情報は原則として公開（プレス発表）しますので、予めご了承ください。